

一般社団法人 日本腎不全看護学会

2025年度 定時社員総会資料

日 時:2025年11月28日(金)
16:15 ~ 17:15

会 場:神戸国際会議場 4F 403 号室
(兵庫県神戸市港町中町 6 丁目 9 番 1 号)

【報告事項】

- ・入会状況・年会費納入状況
- ・2024年度事業報告
- ・その他の活動報告

【決議事項】

第1号議案:2024年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

第2号議案:2025年度事業計画および予算案承認の件

第3号議案:理事・監事選任の件

第4号議案:学術集会大会長承認の件

※社員総会にご出席される方は、この資料を必ずご持参ください。総会の円滑な運営にご協力をお願いいたします。

一般社団法人日本腎不全看護学会 第5期組織図



*:委員会への常任理事の配置に関する規定、第3条に該当する者

正会員:CKDLN *慢性腎臓病療養指導看護師(旧 透析療法指導看護師)

Chronic Kidney Disease Leading Nurse

都道府県名	正会員数	CKDLN	都道府県名	正会員数	CKDLN
北海道	162	56	滋賀県	49	12
青森県	35	6	京都府	70	20
岩手県	36	9	大阪府	214	60
宮城県	45	7	兵庫県	133	34
秋田県	25	9	奈良県	45	18
山形県	34	15	和歌山県	16	4
福島県	29	4	鳥取県	32	10
茨城県	58	13	島根県	18	3
栃木県	53	10	岡山県	61	12
群馬県	33	5	広島県	92	34
埼玉県	166	34	山口県	43	13
千葉県	179	51	徳島県	20	9
東京都	292	77	香川県	37	15
神奈川県	245	57	愛媛県	61	18
新潟県	30	7	高知県	20	7
富山県	63	20	福岡県	204	56
石川県	42	11	佐賀県	31	8
福井県	31	5	長崎県	39	11
山梨県	29	8	熊本県	64	20
長野県	57	19	大分県	33	6
岐阜県	55	9	宮崎県	19	7
静岡県	75	18	鹿児島県	32	4
愛知県	330	106	沖縄県	27	6
三重県	30	10	住所不明	27	1
合 計		会員・CKDLN	3521	954	

第21回までのCKDLN試験合格者累計:2380名

※CKDLN在籍者数

賛助会員 34

個人	0
法人	34

男女比	女性 91.2%	男性 8.8%
看護資格	看護師 99.2%	准看護師 0.8%

日本腎不全看護学会 会員状況・年会費入金状況

2025年8月末現在

正会員数 3,521名

CKDLN人数 954名

2023年度年会費	入金	3,125名	88.8%
-----------	----	--------	-------

2024年度年会費	入金	3,040名	86.3%
-----------	----	--------	-------

2024年8月末現在

正会員数 3,703名

CKDLN人数 1,001名

2022年度年会費	入金	3,193名	86.2%
-----------	----	--------	-------

2023年度年会費	入金	3,140名	84.8%
-----------	----	--------	-------

2024 年度事業報告

常任理事会

理事長：岡美智代

事業内容	事業実施事項
1. 本学会の安定稼働 (本学会が安定して、運営できるように理事会及び常任理事会を開催し、課題の整理、検討を行った)	1. 第5期理事会および常任理事会開催 1) 理事会の開催 委員会活動、学会運営の意見交換、検討を行った。第2回以外の開催についてはすべてリモート開催（Zoomによる開催）。 第1回理事会 2024年10月12日（土）15:00～17:00 第2回理事会 2024年11月8日（金）15:00～16:00 第3回理事会 2025年2月15日（土）15:00～17:00 第4回理事会 2025年5月25日（日）15:00～17:00 第5回理事会 2025年8月23日（土）15:00～17:00 2) 常任理事会の開催 理事会の開催にあたり、各委員会の議案に対して事前確認と整理を行った。 第1回常任理事会 2024年9月27日（金）15:00～17:00 第2回常任理事会 2024年11月8日（金）14:30～15:00 第3回常任理事会 2025年1月31日（金）15:00～17:00 第4回常任理事会 2025年5月9日（金）15:00～17:00 第5回常任理事会 2025年8月8日（金）15:00～17:00
2. 「運営目標1: 国民への情報発信の強化と関連組織との連携」について	1) 研究委員会、国際交流委員会、災害対策委員会、医療安全委員会、倫理委員会への支援を通して関連組織との連携活動を行った。 2) 広報委員会への支援を通して、JANNの活動について情報発信を行った。 3) 第27回日本腎不全学術集会・総会（会場：富山）の運営支援を行った。 4) 日本透析医学会、日本腹膜透析医学会、日本腎臓病協会等の関連学会・研究会への学術集会、会議等への参加を支援した。
3. 「運営目標2: 腎不全看護の知識と実践の構築と発展」について	1) 編集委員会、研究委員会への支援を通して研究成果の創生と研究推進を行った。 2) JANNの編集により、照林社と医学書院からの書籍出版準備。 3) 編集委員会・CKDLN委員会、常任理事会による横断的ワーキンググループによる日本腎不全看護学会学会賞・学術部門・実践部門の準備。
4. 「運営目標3: 腎不全看護を担う人材育成と活用」について	研修、セミナー、看護研究助成金の授与、CKDLN, CN, CNS、腎代替療法専門指導士の活動支援など、すべての委員会への支援を通して、人材育

て 5.「運営目標4:組織インフラとシステムのリストラクチャー」について	成を推進した。 1) 第5期理事選出後、2023年11月17日の総会にて、各委員会委員長と委員が承認された。その後、各委員会が目標を持って活動しやすいように、4つの運営目標を提示した。2024年度もこの4つの運営目標に沿って各委員会の活動支援を行った。 2) 第5期では、各委員会による運営目標の迅速な実施や委員会間の情報共有のため、各委員会への常任理事を配置した。これにより、常任理事会と各委員会間の確認事項が迅速かつに行われるようになり、委員会間の活動内容の連携が強化された。 3) ホームページリニューアルならびに英語版ホームページの立ち上げ準備
--	---

2024 年度事業報告

編集委員会

委員長：小坂志保

事業内容	事業実施事項
本学会誌を年 2 回発刊し、投稿論文数の増加・質向上を狙う＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ 1. 学会誌発行	(1) 2025 年 4 月 第 27 巻 1 号 2025 年 1 月 掲載原稿決定 2025 年 2 月 最終原稿受理 2025 年 3 月 校正 (2) 2025 年 10 月 第 27 巻 2 号オンライン発刊予定 2025 年 7 月 掲載原稿決定 2025 年 8 月 最終稿入稿 2025 年 10 月 校正 2025 年 10 月末発刊予定
2. 査読・投稿論文の質の担保	第 1 回投稿者セミナーの実施 2025 年 8 月 3 日（日）9:30-13:00 42 名参加 講演者：①投稿のコツ「実践報告の基本ステップ」松村直子委員 ②投稿のコツ「投稿規定の改定」服部智子副委員長 ③投稿のコツ「実践報告のまとめ方」山内英樹委員
3. 優秀論文賞の設立	2024 年度は、優秀論文賞の設立を検討することとして準備ワーキングを設置した（委員長、副委員長、山内委員、濱田委員） 各学会の論文賞・学会賞などの情報収集を行い、理事会報告した
4. 事業運営のための委員会開催	編集委員会開催（すべて web にて開催） 第 1 回 2024 年 11 月 21 日 第 2 回 2025 年 1 月 22 日 第 3 回 2025 年 2 月 26 日 第 4 回 2025 年 4 月 8 日 第 5 回 2025 年 5 月 15 日 第 6 回 2025 年 7 月 11 日 第 7 回 2025 年 7 月 24 日 第 8 回 2025 年 8 月 3 日 第 9 回 2025 年 9 月 18 日

2. 査読者への支援の充実 <運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展> <運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用> 3. その他	実践報告の投稿数が増加しているため、実践報告の記載方法・査読の視点も含めた投稿規定・確認シートへと改定を行った。 2025 年 11 月 30 日 9 時～10 時半まで第 28 回日本腎不全看護学会学術集会において、研究委員会と合同にて交流集会を開催する。 また、同学術集会会期中、論文投稿相談ブースを設置し、投稿者・査読者の論文投稿に関する個別相談に応じる。 日本腎臓リハビリテーション学会より、腎臓リハビリテーションガイドライン 2026 の外部査読を編集委員会が請け負い、編集委員全員で実施した。
--	--

2024 年度事業報告

教育委員会

委員長：片村幸代

事業内容	事業実施事項
<運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展> 1. 第 27 回日本腎不全看護学会・学術集会併設基礎教育ミナー 2. CKDLN 研修 3. 治療選択特別研修 4. トピックス研修	2024 年 11 月 10 日（日）現地開催 テーマ：「SDM と ACP－考え方と実践」 講師：会田薫子先生（東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター 上廣講座） 座長：鳥居芳行（日本腎不全看護学会副理事 教育委員） 2024 年 12 月 22 日（日）Web 開催 講師：大内雄太先生 医療法人美之会（いりょうほうじんみゆきかい）青空クリニック テーマ：「高齢者の看護～認知症を有する透析患者へのケア～」 参加者 46 人、当日欠席者 2 人、早退 2 人 研修は講師による講義 60 分、ブレイクアウトルームを活用してのグループワーク 60 分、ワーク内容について発表と講評 60 分とした。 ・グループワークは 4-5 人/G とし、各参加者が事例を事前準備し、その中からグループ内で 1 事例について事例検討した。 ・ファシリテーターは教育委員が務め、担当グループのブレイクアウトルームに入りディスカッションのサポートをした。 すべて Web 開催 2025 年 2 月 16 日 講座 E 参加人数 51 人 講座 F 参加人数 50 人 2025 年 2 月 23 日 講座 A 参加人数 81 人 講座 B 参加人数 78 人 2025 年 3 月 9 日 講座 C 参加人数 51 人 2025 年 3 月 16 日 講座 D 参加人数 54 人 次年度より「新規 4 時間治療選択特別研修」とし開催予定 2025 年 10 月 12 日（日）Web 開催予定 講師：安藤亮一先生、小山貴也先生 テーマ：「透析医療における医療安全のための提言」

2024 年度事業報告

研究委員会

委員長：小坂志保

事業内容	事業実施事項
＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ 1. 研究委員会倫理審査部 研究倫理審査受付窓口開設	2023 年 2 月 27 日より日本腎不全看護学会ホームページ上に「研究倫理審査」のタブを立ち上げ、研究倫理審査受付窓口を開設した。今年度は、倫理審査の申請は 0 件であった。 次年度は体制の見直しなどを行うことが必要である。
＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞ 2. 学会員の研究能力向上のための活動	1) 2025 年 5 月 18 日（第 5 回）、2025 年 8 月 24 日（第 6 回）2 回にわたり研究倫理セミナーを開催した。 第 5 回は事例研究を中心にセミナーを行った ・事例研究とは、事例研究の基本的な進め方、事例研究を進めるためのグループワーク、希望者に個別相談会も実施した 第 6 回は研究成果の公表を中心にセミナーを行った ・研究成果の公表とは、学会における成果の発表、論文における成果の発表、成果の公表を行うためのグループワーク、希望者に個別相談会も実施した 2) 2024 年 11 月に開催された 27 回日本腎不全看護学会にて研究相談ブースを開設し、数多くの相談を受けることができた。2025 年 11 月の第 28 回日本腎不全看護学会学術集会においても、相談ブースを開設予定である。 3) JANN 会員の研究推進を目的として、会員が計画した研究について、SOLTI に登録されている学会員のメールアドレス宛に一斉メールを送信した。今年度依頼件数 1 件であった。
＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ 3. 腎不全看護学の向上に寄与する重要課題について検討し、研究委員会主導で学会全体のエビデンスの構築	2024 年 9 月に「保存期 CKD 患者における看護実践及び、成果資料に関する実態調査」を行った。研究結果報告を、日本腎不全看護学会誌第 27 巻 1 号・2 号に論文化し、公表した。 第 27 巻 1 号「保存期 CKD 患者における看護実践及び成果評価に関する実態調査 第 1 報」 第 27 巻 2 号「存期 CKD 患者における看護実践及び成果評価に関する実態調査 第 2 報」 今後は、海外のジャーナルに投稿する予定である。
＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞ 4. 事業推進のための委員会開催	事業推進のための委員会開催 第 1 回 2024 年 12 月 15 日 対面会議 神戸 第 2 回 2025 年 3 月 2 日 web 会議 第 3 回 2025 年 5 月 1 日 web 会議 第 4 回 2025 年 5 月 14 日 web 会議 第 5 回 2025 年 6 月 23 日 web 会議

	第 6 回 2025 年 7 月 8 日	web 会議
	第 7 回 2025 年 8 月 4 日	web 会議
	第 8 回 2025 年 9 月 30 日	web 会議

2024 年度事業報告

看護研究助成審査委員会

委員長：飯田美沙

事業内容	事業実施事項
研究助成事業の維持推進 ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞ 1. 研究助成事業	(1) 看護研究助成公募：2024 年 10 月 1 日～2025 年 2 月 28 日 (2) 応募者の申請内容の審査および助成の決定、交付 ・総応募数 2 件（内、1 件は申請後に辞退） ・厳正な審査後、理事会の承認を得て以下の 1 件に決定した。 「慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease）患者のアドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning：ACP）における看護師の実践状況とその影響要因の検討」 松永 佳世子（小郡第一総合病院） 期間：2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日 助成金額：37 万円
2. 研究結果報告の確認	(1) 助成者の義務について 2024 年度の看護研究助成審査において、助成者の義務を全うできない申込者が発生した件を受けて、学会発表の条件（発表を未発表・未登録に限ること）と助成規定の条件（本会学術集会における成果の発表）について委員会内で協議した。結果、助成規定条件の変更もしくは、本学会における学会発表条件の変更のいずれにおいても、現行の対応を維持することとなった。 (2) 看護研究助成審査委員会の関連書類の押印慣行の見直し 押印欄のある書式について、押印廃止若しくは存続の検討を委員会内で協議した。全ての書式は、押印を求める趣旨に該当するが、代替手段として、継続的な関係のあるメールアドレスからの提出がなされていた。そのため、全ての書式について押印廃止を決定した。 (3) 看護研究助成金を支給した助成者の看護研究進捗状況の確認 フローチャートに則り、2019 年助成者 1 名、2020 年助成者 1 名に対し、事務局を通じて、研究進捗状況の確認を行った。ともに、学術集会における発表後であり、論文投稿準備中の助成者である。2025 年 8 月までに、論文の投稿には至っていない。論文投稿が困難である場合には、実績報告書の学会誌掲載を提案している。

2024 年度事業報告

広報委員会

委員長：今西伸子

事業内容	事業実施事項
1. メールニュース配信 <運営目標 4：組織 インフラとシステム のリストラクチャー>	No. 11 2024 年 10 月 10 日配信 No. 12 2025 年 2 月 10 日配信 No. 13 2025 年 6 月 10 日配信
2. SNS 配信 <運営目標 4：組織 インフラとシステム のリストラクチャー>	関連学会や日本腎不全看護学会のセミナーのお知らせ 災害対策委員会との連携を図り、豪雨災害時に「災害時ネットワークへの情報提供のお願い」を掲載した。 2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月末までに Facebook は 39 回配信 LINE 公式アカウントは 39 回配信 Instagram は 47 回配信 LINE 公式アカウントの登録者は、8 月末で 996 名。
3. ホームページの運用と管理 <運営目標 1：国民への情報発信の強化 と関連組織との連携>	・ 2025 年 3 月 「CKDLN 活動報告」の更新 ・ 2025 年 6 月 学会刊行物をホームページのトップに追加した ・ 「委員会からのお知らせ」が活用されていないため、理事会時の各委員会からの「報告事項」のうち、公開可能なものを掲載する。 ・ ホームページにおける英語サイト作成を進める
4. ホームページのリニューアル <運営目標 1：国民 への情報発信の強化 と関連組織との連携>	現行ホームページが開設から 6 年経過し、保守・更新の観点からリニューアルが必要である。 現在の委託業者はリニューアルに対応できないため、他社へ移行する。 現行のコンテンツを引き継いで、デザインを新しくする場合の見積額は約 98 万円である。 予算執行は来期とし、次期役員への引き継ぎ時期である 11 月のリニューアル完了を目標に進めることとなった。

2024 年度事業報告

看護政策委員会

委員長：鉾立優作

事業内容	事業実施事項
令和 8 年度腎不全看護領域の診療報酬改定に向けた要件の検討 <運営目標 2：腎不全看護の知識と実践 の構築と発展>	第 5 回看護政策委員会会議 2024 年 11 月 7 日 第 6 回看護政策委員会会議 2024 年 11 月 25 日 第 7 回看護政策委員会会議 2024 年 12 月 4 日 第 8 回看護政策委員会会議 2025 年 1 月 29 日 第 9 回看護政策委員会会議 2025 年 3 月 13 日
令和 8 年度診療報酬改定に向けた要望書作成	看保連：診療報酬あり方検討委員会へ令和 8 年度診療報酬改定に向けた要望書を提出 内容：「バスキュラーアクセス指導管理料の新設」
診療報酬獲得に向けたエビデンスの構築	2025 年 5 月 28 日 統計調査委員会＋看護政策委員会 合同委員会を開催。 VA に関する研究チームを立ち上げ、協働していくことを確認した。

2024 年度事業報告

医療安全・感染対策委員会

委員長：小山貴也

事業内容	事業実施事項
1. 日本医療事故調査機構 (医療事故調査・支援 センター)との協働 ＜運営目標 1：国民への情報 発信の強化と関連組織との連 携＞	1) 2025 年 3 月 10 日：協力学会として説明会へ参加（中島） ・出欠票とアンケートの作成あり 2) 2025 年 5 月 25 日：協力学会として更新・登録手続きをおこなった ・協力学会担当者リストの作成あり ・統括責任者：小山貴也・事務局担当者：柳澤晴美 3) 〈C0199 個別調査部会〉2023 年 2 月 27 日に事故調査依頼があり、 篠原健太氏と坊坂桂子氏が現在調査対応中。 4) 2024 年度は新たな医療事故調査依頼はなし
2. 日本透析医学会危機管理 委員会医療安全小委員会 との協働 ＜運営目標 1：国民への情報 発信の強化と関連組織との連 携＞	1) 2024 年 10 月 22 日：関連学会として令和 6 年度第 1 回危機管理 委員会「医療安全対策小委員会」に参加（小山） 2) 2025 年度は 10 月頃開催予定（小山が参加予定）
3. 医療安全感染対策について 委員からの相談に対応する ＜運営目標 2：腎不全看護の 知識と実践の構築と発展＞	1) 2024 年 12 月 20 日：会員より転倒転落アセスメントシートに 関する問い合わせを受け、回答書を作成し対応した
4. 事業推進のための委員会を 定期的に開催する ＜運営目標 3：腎不全看護を 担う人材育成と活用＞	2024 年 9 月 25 日：委員会開催（第 4 回目：Web 会議） 2024 年 10 月 29 日：委員会開催（第 5 回目：Web 会議） 2025 年 4 月 1 日：委員会開催（第 6 回目/2024 年度 1 回目） 2025 年 6 月 8 日：委員会開催（第 7 回目/2024 年度 2 回目） 2025 年 10 月と 11 月にも開催予定
5. 「透析医療における医療 安全のための提言」策定 ワーキンググループへの 参加 (参加先：日本透析医会) ＜運営目標 1：国民への情報 発信の強化と関連組織との連 携＞	2024 年 10 月 3 日 全体会議（第 3 回目/Web）参加 17：00～19：00 2024 年 11 月 22 日 原稿提出 2024 年 12 月 4 日 全体会議（第 4 回目/現地：東京）17：00～19：00 2024 年 12 月 25 日 最終原稿提出 2025 年 2 月 10 日 全体最終会議（Web）17：00～19：00 2025 年 4 月 30 日「透析医療における医療安全のための提言」発刊 2025 年 6 月 12 日「透析施設における標準的な透析操作と感染予防 に関するガイドライン(六訂版)を JANN の HP に掲 載した

6. 協力学会からの講演依頼に対応する <運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展> 7. 医療安全感染対策に関する学びの場を提供する <運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用>	2025 年 6 月 18 日「透析医療における医療安全のための提言」提言を JANN の HP に掲載した 2024 年 12 月 「第 70 回 JSDT 学会委員会企画 11：危機管理委員会（医療安全小委員会）-「透析医療における医療安全のための提言」-において「転倒転落事故防止」について講演依頼あり。 2025 年 1 月 24 日に抄録を登録。 2025 年 6 月 28 日第 17 会場で講演した（小山） 1) 日本腎不全看護学会学術集会・総会での交流集会の開催 ・ 2024 年 11 月 10 日 第 27 回 JANN 富山大会で交流集会を開催 ・ 2025 年 6 月上旬 第 28 回 JANN 神戸大会の交流集会の抄録登録 ・ 2025 年 8 月 27 日 採択された 2) 教育委員会との協働 2025 年 6 月 18 日 教育委員長よりからトピックス研修の講師依頼あり。テーマは「透析医療における医療安全のための提言」 2025 年 10 月 12 日に Web で講演予定（90 分/小山）
--	--

2024 年度事業報告

災害対策委員会

委員長：徳田勝哉

事業内容	事業実施事項
1) JANN 会員の JHAT 隊員数の増員を目指す。 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	本委員会では、日本で唯一の透析災害に対する系統的な研修であると位置づけしており、JHAT 隊員または、JHAT 研修参加者を一定水準の透析医療に対する災害対策の知識の獲得・維持ができている者として認識していることを前提とする。本年度は、2 回の JAHT 隊員養成研修会へ開催した。看護師は 29 名が増加し 170 名(35.2%)となった。全職種 JHAT 隊員は、59 名が増加し、本登録：482 名となった。また、職種別では、臨床工学技士:304 名(63.0%)、看護師×臨床工学技士のダブルライセンス:6 名(1.24%)、医師:2 名(0.4%)となった。研修の開催地区の選定・広報に対する参画により、JHAT 隊員養成研修参加や JHAT 隊員登録者数が増加した。災害ニュースレターの作成(広報)を計画していたが、今年度は実施できなかったため、次年度への継続課題とする。
2) JANN 会員の JHAT 隊員の地区分布の明確化 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連団体との連携＞	昨年度までの看護師 JHAT 隊員が不在の都道府県は、11 県であった。今回 JHTA 研修の開催地区を不在地区の近隣で開催することで、看護師 JHAT 隊員不在の都道府県が 6 県となった。昨年度から、看護師 JAHT 隊員の分布地区を可視化したことで、看護師 JHAT 隊員の配置分布を大きく改善することができた。看護師 JHAT 隊員不在都道府県：秋田県・栃木県・福井県・山梨県・奈良県・島根県：6 県
3) 災害対策マニュアルまたは、チェックリストの作成 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	透析関連災害対策マニュアルの調査を実施した。各学会、各地区、行政、施設単位で多くの災害対策マニュアルが作成されていた。また、日本透析医会でも次年度に作成を予定しているため、今年度の本会の災害マニュアルの作成は、見合わせた。しかし、臨床現場での看護師が行う災害対策のチェックリストや災害を見越した日常業務の指針の作成は、必要であると判断した。
4) 災害時の収集した情報を会員へ還元し災害時の情報提供体制を構築する。 ＜運営目標 1：腎不全看国民への情報発信の強化と関連団体との連携＞	小規模災害から大規模災害の全ての災害に対して、本委員会としての対応は困難あり、大規模災害またはその可能性がある際は、日本透析医会災害時情報ネットワークの起動時に合わせて、本委員会と日本臨床腎臓病看護学会(JSCNN)災害対策委員会との日本透析看護災害時合同協議会 災害対策本部を設立し対応することとした。その際、情報収集や他団体との協議内容、活動状況を共有し本会会員へ報告書として随時、情報提供を行う体制を確立した。その後、大規模災害なく、主な活動実績はなし。また、小規模災害時の情報は、災害支援を必要とする場合もあり、また今後の災害対策への有益な情報となるため、可能な範囲で委員会メンバーを中心に情報収集・提供を実施する方向で活動する方針となった。

5) 透析施設における災害状況の簡易報告ツールの検討と運用 ＜運営目標 1：腎不全看国民への情報発信の強化と関連団体との連携＞	前年度は、本会災害対策委員会と日本臨床腎臓病看護学会(JSCN)災害対策委員会と協働し、本邦の災害時透析医療に対する対策や対応を実施した。本年度は、構成メンバー、情報提供体制、各役割の成文化を実施できた。 災害が発生し、日本透析医会 災害時情報ネットワークが起動した際に、日本災害時透析看護協議会を設置し、メンバーは、JANN 災害対策委員長(1名)・JANN 災害対策委員(1名)・JANN CKDLN 委員長(1名)・JANN 広報委員長(1名)・JANN 災害対策委員会 担当理事(1名)・JSCN 災害対策委員長(1名)・JSCNN 災害対策委員(1名)・JSCNN 災害対策委員会 担当理事(1名)の計8名で情報共有し、各理事会や会員への情報提供や支援体制などの内容を伝達できる仕組みを構築した。
6) JHAT 事業への参画 ＜運営目標 1：腎不全看国民への情報発信の強化と関連団体との連携＞	本委員から、第12回 JHAT 隊員養成研修会(静岡/香川)と第13回 JHAT 隊員養成研修会(熊本)へ本委員を派遣し運営側として参加した。また JHAT や透析医会の有事の際の緊急会議や、定例会議へ本委員会から常に参加した。 第12回 JHAT 隊員養成研修会(静岡/香川) 2025年02月22-23日(済) 第13回 JHAT 隊員養成研修会(熊本) 2025年06月06日-07日(済) 第14回 JHAT 隊員養成研修会(千葉) 2026年02月(予定) 第15回 JHAT 隊員養成研修会(沖縄) 2026年06月(予定) JHAT 会議：2025年02月26日 21:00-22:00 JHAT 会議：2025年05月12日 21:00-22:00 JHAT 会議：2025年06月12日 21:00-22:00 透析医会災害時情報ネットワーク会議：2025年07月18日 18:00-19:00 透析医会 危機管理委員会 災害対策小委員会 2024年10月22日 19:00-19:35

2024 年度事業報告

国際交流委員会

委員長：高井奈美

事業内容	事業実施事項
1. 会員が海外の慢性腎臓病について関心を高められるように支援する ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1-1) 国際学会について、会員に向けて情報を提供する 海外の腎不全看護について、会員に情報を提供する ①関連のある国際学会およびセミナー等の情報を、ウェブサイト上より発信する →2024 年 9 月 14、15 日に京都で開催された Kidney Health in Aging and Aged Societies に参加し、国際交流委員会委員長として、日本における腎代替療法選択に関する現状を報告した。その後、座談会に参加し、各国の情報提供に関するディスカッションに参加した。 →2024 年 9 月に第 8 回アジア腎不全看護シンポジウム（ANNS）が中国で開催されたが、シンポジウム開催の案内が 8 月中旬であり、会員への周知が間に合わなかった。 →第 9 回アジア腎不全看護シンポジウム（ANNS）は、2026 年 10 月 16、17、18 日にタイ国バンコクで開催予定（大会長；Mahidol University の透析センターの専門看護師）。ホームページの案内は未定。
2. 海外の慢性腎臓病看護関連学会と交流し、各国の看護について情報発信する ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞	2-2) 海外の腎不全看護について、会員に情報を提供する ①ISPD リエゾンナース、ANNS のメンバー国と連携し、お互いに情報交換を行う →2024 年 4 月 8 日（月）6：00～、2024 年 6 月 24 日（月）6：00～の会議に参加した →2024 年 9 月のトルコで開催された ISPD において、会議開催について話し合わせ、ウェブ会議は時差の問題もあり開催困難であることが周知された。以降、会議の開催なし。 →ISPD メンバーのリーダーを務めていた、オーストラリア代表から、ブラジル代表の方に交代した ②海外から日本の慢性腎臓病看護の状況を情報収集できるよう、主要な内容を英語表記。英語表記された文書を用いて、JANN ホームページ上で英語用ページを作成する →JANN ホームページ表紙、理事長挨拶、CKDLN、各委員会の役割について英語翻訳した。 →英語翻訳した文書を JANN ホームページからアクセスできるように手続き実施中である。 ③海外の腎臓病学会やセミナーなどに参加した委員会や会員の活動内

	容をニュースレターとして発信し会員に情報提供する →上記学会に参加した委員、学会員のより情報を収集し、ミニニュースレターを作成した。2024 年 10 月のメールニュース No. 11 に掲載された。 ④海外で有用な文献やガイドラインなど、国際交流できるトピックを発信する →ミニニュースレターにて国際学会におけるトピックスを提供した。 →ISPD メンバーより、腹膜透析患者のフェイスマスク着用に関するアンケート調査依頼あり。JANN 会員に周知しアンケート調査の依頼を行い、国際的活動に参画の手続きを実施中。
--	---

2024 年度事業報告

倫理委員会

委員長：山本美和

事業内容	事業実施事項
1. 学会活動および、学会運営を行うに際して、学会設立の趣旨にそった倫理上の指針を検討する ＜運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー＞ 2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進する ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) 「会員」の倫理 一会員の行動を律する職業倫理規定は、日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を基本とする 2) 「学会活動」「学会運営」の倫理 一会員は、「日本腎不全看護学会の定款」によって活動する 一役員、理事、社員は「定款」および「細則」に則って会の運営を行った 3) 学会のための COI 規約 ①JANN の「利益相反指針運用細則」「利益相反管理指針」を作成、部分使用施行。 1) 学会員へ臨床倫理に関する知識や情報提供の活動 ①2024 年 11 月開催の第 28 回日本腎不全看護学会学術集会・総会 委員会企画シンポジウム実施 テーマ：現場でのもやもや症例を臨床倫理でリフレクション 外部講師：三浦靖彦先生、学会員症例発表 4 名 ②臨床倫理セミナー 8 月 3 日(日)13：30～15:30 ZOOM 開催 参加者 58 名 2) 学会へ提出された抄録の取り扱いに対する倫理的取り決め ①「抄録の取り扱いについて」の運用実施 3) 倫理委員会がない施設や専門的の高い臨床症例に対して学会での臨床倫理相談窓口の設立の検討と運用準備 ①臨床倫理セミナーにて症例相談窓口を設け、セミナー内で質問に対応する形で実施 4) 「腎代替療法に関する意思決定支援における日本腎不全看護学会のステートメント」の見直し

2024 年度事業報告

統計調査委員会

委員長：篠原謙太

事業内容	事業実施事項
1. 会員のレジストリの構築 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ 1) 会員情報管理システム（SOLTI）への運用 2) 会員へのレジストリに関するデータ入力の依頼 3) 入力されたデータの集計	2024 年度は、3 回（9 月、1 月、5 月）の会議を開催した。さらに、調査（研究）に関する会議を対面で 1 回、Web で 2 回開催した。 会員のレジストリ構築に向けて、会員の部署の配置、看護実践の状況、診療報酬に関わる実践の状況など調査項目の選定を行った。しかし、会員情報管理システム（SOLTI）でのデータ収集はシステム上困難であることが判明した。その代替えとして、看護政策委員会と共同し、バスキュラーアクセス管理に関するデータ収集を研究として実施することとした。現在は研究計画書を作成している段階であり、今後は今期の有志メンバーと次期委員と共同で研究が完結するまで継続していく。
2. 看護政策委員会との協働 ＜運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー＞ 1) 看護系学会等社会保険連合への要望書等に必要データの検討・収集	5 月に看護政策委員会と合同会議を開催した。 現在、バスキュラーアクセス管理に関する要望書を提出しているが、根拠となる文献・資料が乏しい現状があることを共有した。今後は、本委員会と看護政策委員会メンバーが共同し、研究として根拠資料を作成していくこととした。

2024 年度事業報告

認定委員会

委員長：宇賀神ゆかり

事業内容	事業実施事項
1. CKDLN 認定審査事業 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) 第 22 回 CKDLN 認定審査の実施 申請期間：2025 年 1 月 7 日～1 月 17 日 筆記試験：2025 年 6 月 1 日（日）CBTS 方式 2) 認定証の発行 3) 筆記試験問題作成会議の実施、結果の分析
2. CKDLN 更新審査事業 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) 更新審査事業の実施 申請期間：2025 年 4 月 1 日～4 月 17 日 ・第 17 回更新審査 ・第 12 回再更新審査 ・第 7 回再々更新審査 2) 認定証の発行
3. 支援事業 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) 第 27 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における交流集会への参加 2) 第 27 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における CKDLN 相談コーナーの開設 3) 年 3 回の事例の書き方セミナー開催 (1 月・2 月・3 月)
4. 認定ポイント対象研修事業 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) 認定ポイント対象研修および認定ポイント対象企業主催研修に関する申請の審査の実施
5. 事業運営のための委員会開催 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) オンライン会議を基本として、年 4 回開催予定（うち 2 回は、認定審査受験資格審査判定会議、更新審査判定会議） ・セミナー開催に向けての WEB 会議（4 回） 2) CKDLN 受験、更新、再更新、再々更新に関わる各種要項の見直し
6. 慢性腎臓病療法指導看護師（CKDLN）商標登録 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1) 慢性腎臓病療法指導看護師（CKDLN）商標登録完了

2024 年度事業報告

CKDLN 委員会

委員長：江上豊

事業内容	事業実施事項
1. CKDLN ネットワーク作り ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ 2. CKDLN の新規登録者の増加、再更新を促す ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞ 3. CKDLN の質向上 ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞ 4. その他 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞ ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞	1-1. 地区代表と都道府県代表の交流会開催 ➡富山大会前日に開催 1-2. CKDLN のワークショップの開催 ➡富山大会で開催 1-3. 活動レポート ➡24 件の提出 2-1. CKDLN 魅力の発信 ➡ポスター・動画の作成（2025 年度に HP アップを目指す） 3-1. 地区セミナーの開催 ➡関東地区・中四国地区・甲信越地区・九州沖縄地区で開催 4-1. CKDLN 委員会の細則の改定案を作成 4-2. 神戸大会にてワークショップと交流集会を企画 4-3. CKD 委員会に協力し市民公開講座に CKDLN が参加

2024 年度事業報告

CKD 委員会

委員長：城間久美絵

事業内容	事業実施事項
＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞ ・CKD に関する国民への啓発：学術集会時の市民公開講座の開催	1) 田辺三菱製薬の助成金を活用しながら、全国で 11 か所の市民公開講座を行い、今後 11 月に 2 か所の市民公開講座を行う予定している。 ※開催地域や参加人数、アンケート集計結果は学会 HP の「委員会からのお知らせ」に掲載。
＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ ・慢性腎臓病看護 第 7 版発刊の確認	2) 編集委員会と共同し、2026 年度の発刊に向け、2025 年 5 月から慢性腎臓病看護第 7 版の準備を開始し、目次と執筆者を選定し、原稿依頼を行った。原稿提出期限を 10 月 20 日としている。
＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞ ・CKDLN、CN、CNS の役割充実と拡大、活動成果の提示	3) 全国で行った市民公開講座では、各地の CKDLN の協力を得ることができ、スタッフの参加は合計 119 名の協力を得ることができた。スタッフ対象のアンケートを行い、各地の CKDLN や CN・CNS との交流の機会となり、市民公開講座の手順も学ぶことで、今後も継続的に公開講座を開催することに繋がっている。
＜運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー＞ ・各事業作業のスマート化	4) 市民公開講座開催時の企画書・マニュアル・チェック表・当日分担表・アンケート用紙を作成することで、どの地域でも同じように市民公開講座を行うことができた。今後もこの資料を活用しながら改定し、スムーズに市民公開講座を開催していきたい。また、各地の CKDLN も活用できるように公表していく。 ※企画書等の資料は学会 HP の「委員会からのお知らせ」に掲載。

第27回日本腎不全看護学会学術集会・総会 収支決算書

<収入の部>

2025/3/13

項目	予算額	決算額	差異	摘要
参加費収入	10,400,000	14,804,000	4,404,000	会員（前期登録）10,000円×821名、会員（後期登録）12,000円×64名、非会員（前期登録）13,000円×354名、非会員（後期登録）15,000円×81名、学生（前期登録）3,000円×1名、学生（後期登録）3,000円×2名、招待 無料×21名
抄録集売上	0	12,000	12,000	プログラム・抄録集3,000円×4冊
準備金	1,000,000	1,000,000	0	社団法人日本腎不全看護学会
補助金	540,000	630,000	90,000	富山県学会等開催事業補助（県外参加者1,000～1,499人）
	1,000,000	1,500,000	500,000	富山市コンベンション開催事業補助金（県外参加者1,000～1,499人）
寄附金	440,000	640,000	200,000	企業・関連病院等寄附金
広告掲載料	968,000	968,000	0	後付1頁（モノクロ）88,000円×5社、後付1/2頁（モノクロ）66,000円×8社
出展料	2,640,000	2,640,000	0	企業展示23社 110,000円×24小間
共催費	5,720,000	5,720,000	0	ランチョンセミナー（500席規模）880,000円×2社、ランチョンセミナー（200席規模）660,000円×4社、スイーツセミナー（200席規模）660,000円×2社
銀行利息	0	3,970	3,970	
雑収入		16,940	16,940	
収入合計	22,708,000	27,934,910	5,226,910	

<支出の部>

項目	予算額	決算額	差異	摘要
会場費	3,000,000	3,179,930	179,930	富山国際会議場 施設利用料金、附属備品使用料
	500,000	317,040	(182,960)	富山市民プラザ 施設利用料金、附属備品使用料
	2,800,000	3,781,250	981,250	会場整備・レンタル機材費
	1,000,000	1,188,160	188,160	設営費（看板・サイン）
印刷製本費	1,100,000	1,087,647	(12,353)	広報制作・印刷物（ポスター、チラシ、封筒、ネームカード等）
	2,100,000	3,159,970	1,059,970	プログラム抄録集作成・印刷費
	0	0	0	コンGRESバッグ印刷費
招聘費	500,000	310,000	(190,000)	謝金
	200,000	85,480	(114,520)	招待者交通費
	100,000	45,000	(55,000)	招待者宿泊
運営費	3,000,000	3,642,100	642,100	当日運営人件費
	5,500,000	6,125,260	625,260	運営委託費（演題登録・参加登録関連費含む）
	550,000	193,397	(356,603)	事務局経費（会議費、交通費、振込手数料等）
雑費	50,000	196,020	146,020	文具・消耗品
	0	423,500	423,500	郵送発送作業費
	0	24,200	24,200	JCBギフトカード受領リスト・とりまとめ
	520,000	814,550	294,550	オンライン決済手数料
飲食費	0	667,920	667,920	参加者用飲料
	250,000	454,960	204,960	スタッフ昼食・飲料
	0	16,456	16,456	来客用飲料等
通信費	250,000	155,650	(94,350)	通信費（切手、メール便、宅配便等）
その他	250,000	127,600	(122,400)	運営委員宿泊費
	75,000	84,000	9,000	一般演題座長謝礼（1,000円）、市民公開講座座長謝礼10,000円
	500,000	500,000	0	当日運営協力費 のべ
	32,000	20,000	(12,000)	学生謝礼（1日2,000円）のべ
	0	25,000	25,000	副賞
	0	8,000	8,000	査読委員長、副委員長謝礼
	0	301,820	301,820	謝礼等源泉費、立替手数料等
	481,000	0	(481,000)	予算時には、源泉や副賞等のための予備費
準備金	0	1,000,000	1,000,000	準備金の返金（社団法人日本腎不全学会）
支出合計	22,758,000	27,934,910	5,176,910	

第28回日本腎不全看護学会学術集会・総会 収入の部

(単位：円)

項 目	数 量	単価	金額	備考
1. 参加登録費				
・前期参加登録				
1) 会員	890	10,000	8,900,000	
2) 非会員	300	13,000	3,900,000	
3) 学生	60	3,000	180,000	
・後期参加登録				
1) 会員	30	12,000	360,000	
2) 非会員	15	15,000	225,000	
3) 学生	5	3,000	15,000	
小 計			13,580,000	
2. 開催補助金				
日本腎不全看護学会	1	1,000,000	1,000,000	
小 計			1,000,000	
3. 寄附金				
1) 株式会社三和科学研究所	1	100,000	100,000	
2) 祐徳薬品工業株式会社	1	20,000	20,000	
小 計			120,000	
4. 広告料				
1) プログラム・抄録集広告掲載費				
表4広告(カラー)	1	165,000	165,000	
後付1ページ(モノクロ)	2	88,000	176,000	
後付1/2ページ(モノクロ)	6	66,000	396,000	
小 計			737,000	
5. 共催費				
1) ランチョンセミナー	2	880,000	1,760,000	
2) ランチョンセミナー	4	660,000	2,640,000	
3) スイーツセミナー	1	660,000	660,000	
小 計			5,060,000	
6. 企業展示				
1) 企業展示	24	110,000	2,640,000	
2) 書籍展示	1	22,000	22,000	
小 計			2,662,000	
合 計			¥23,159,000	

第28回日本腎不全看護学会学術集会・総会
支出の部

項 目	費用
【会場費】	
1. 会場関係費	4,170,000
【事前準備費】	
2. 事前準備費	1,937,400
3. ホームページ関係費	400,000
4. 印刷・編集費	2,125,000
5. 招請費	1,135,000
6. 通信・運搬費	30,000
7. 備品・消耗品費	210,000
【当日運営費】	
8. 機材備品費	3,986,860
9. 看板・施工関係	2,915,000
10. 当日運営人件費	1,344,000
11. 事後処理関係	220,000
12. その他	600,000
13. 営業管理費	1,907,326
小計	20,980,586
消費税（10%）	2,098,058
合計	¥23,078,644

第1号議案 2024年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

2024年度（2024年9月1日から2025年8月31日まで）における当学会の各種計算書類は下記のとおりであるので、その承認を求める。
あわせて、監査報告を行う。

2024年度収支報告書＜一般会計＞

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

収入の部

(単位:円)

項目	2024年度予算	2024年度決算	備考(内訳)
年会費	34,740,000	34,210,000	
	1,500,000	1,990,000	(一般)過年度 199名
	32,280,000	31,200,000	(一般)当年度 3,120名
	960,000	1,020,000	(賛助)当年度 34口
研修費	2,940,000	1,060,500	
	600,000	0	CKDLN受験対策セミナー
	200,000	0	透析看護入門研修
	800,000	0	トピックス研修
	200,000	200,000	CKDLN研修
	180,000	99,000	査読セミナー(第3回)
	480,000	344,500	研究倫理セミナー(第5・6回)
	300,000	115,000	臨床倫理セミナー
	180,000	170,000	事例書き方セミナー
	0	132,000	投稿者セミナー
教育セミナー費	1,440,000	561,000	CKDLN地区セミナー(北海道、中国四国、関東)
特別研修費	2,880,000	1,002,000	治療選択特別研修
その他収入	317,000	194,738	
雑収入	317,000	192,834	著作権使用料、査読掲載料、認定ポイント対象研修申請料
受取利息	0	1,904	預金利息
収入合計	42,317,000	37,028,238	

2024年度収支報告書＜一般会計＞

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

支出の部 I

(単位:円)

項目	2024年度予算	2024年度決算	備考(内訳)
会議費	1,570,000	414,867	常任理事会5回、理事会5回、社員総会・会員総会1回、会計監査1回
	200,000	0	理事会・社員総会・会員総会 (会議費)
	800,000	115,038	理事会・社員総会・会員総会 (交通費・宿泊費)
	70,000	22,480	理事会・社員総会・会員総会 (通信費)
	500,000	277,349	理事会・社員総会・会員総会 (委託費)
委員会活動費	7,721,000	2,636,505	
	315,500	2,750	編集委員会 (委託費)
	30,000	0	教育委員会
	973,500	203,772	研究委員会 (会場費、会議費、交通費、日当、委託費、雑費)
	50,000	660	看護研究助成審査委員会 (振込手数料)
	219,200	0	広報委員会
	158,000	0	看護政策委員会
	20,000	0	災害対策委員会
	166,600	1,788	医療安全・感染対策委員会 (冊子購入、雑費)
	404,000	169,400	国際交流委員会 (学会Webサイト翻訳)
	345,000	206,040	倫理委員会 (交通費、日当、雑費)
	713,400	0	統計調査委員会
	600,000	604,599	CKD委員会 (会場費、会議費、交通費、日当、雑費、市民公開講座経費)
	325,200	104,295	認定委員会 (通信費、委託費)
	1,900,600	88,660	CKDLN委員会 (会場費、委託費、雑費)
	1,500,000	1,254,541	選挙管理委員会 (印刷費、通信費、委託費)

2024年度収支報告書＜一般会計＞

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

研修費	2,752,650	1,840,915	
	252,400	1,320	トピックス研修 (振込手数料)
	379,360	0	透析看護入門研修
	315,680	0	CKDLN受験対策セミナー
	260,460	221,435	学術集会併設セミナー (交通費、通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
	153,180	153,180	CKDLN研修 (通信費、謝礼、委託費)
	166,180	199,230	査読セミナー (謝礼、委託費)
	398,620	367,280	研究倫理セミナー (謝礼、委託費、雑費)
	475,050	307,140	臨床倫理セミナー (会場費、交通費、謝礼、委託費、雑費)
	351,720	443,090	事例書き方セミナー (謝礼、委託費、雑費)
	0	148,240	投稿者セミナー (謝礼、委託費)
教育セミナー費	1,419,810	1,049,571	
	152,000	79,200	CKDLNセミナー会場費 (事例検討会・地区セミナー：会場費)
	282,000	242,281	CKDLNセミナー交通費 (事例検討会・地区セミナー：交通・宿泊費)
	985,810	728,090	CKDLNセミナーその他経費 (会場費、会議費、謝礼、委託費、通信費、印刷費、雑費)
特別研修費	2,071,680	1,065,459	
	2,071,680	1,065,459	その他経費 (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
広報費	9,616,000	8,046,072	
	1,250,000	588,170	通信費・荷造運賃 (NL発送代)
	666,000	607,415	ホームページ・LINE管理費 (ホームページ管理料・更新作業費、ホスティングサービス料、LINE利用料)
	700,000	274,737	印刷費 (NL、封筒)
	7,000,000	6,575,750	学会誌 (26巻2号、27巻1号)

2024年度収支報告書＜一般会計＞

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

(単位:円)

支出の部Ⅱ

項目	2024年度予算	2024年度決算	備考(内訳)
事務局費	13,620,000	12,092,593	
	300,000	99,911	(ドメイン料金、郵便・宅配便)
	300,000	173,740	(関連学会出席旅費)
	100,000	11,308	(封筒、会費コンビニ振込用紙)
	800,000	793,100	(税理士、司法書士、商標出願・登録費用)
	8,090,000	7,707,802	(ガリレオ社／事務局業務・投稿査読管理業務、CKDLN・バッジ作成)
	760,000	730,000	(IHAT、看保連、JANA、全腎協)
	2,200,000	1,944,841	(クレジット決済手数料、コンビニ手数料、振込手数料、zoom・ウェビナー・vimeo契約料)
	1,000,000	561,891	(消費税、預金利息国税、印紙税)
	70,000	70,000	(法人都民税)
助成金	500,000	370,000	法人税・住民税及び事業税
予備費	1,000,000	0	看護研究助成金
支出合計	40,271,140	27,515,982	
収支差額	2,045,860	9,512,256	
正味財産前期繰越	68,843,052	68,843,052	
正味財産次期繰越	70,888,912	78,355,308	

貸借対照表

【一般会計】2025年8月31日現在 (単位:円)			
資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	未払金	2,394,659
銀行預金	71,485,949	未払法人税	70,000
貯蔵品	432,886	未払消費税	80,600
未収入金	763,500	前受金	260,000
前払費用	344,220	預り金	88,725
仮払金	0	仮受金	11,000
立替金【認定】	7,351,929	負債合計	2,904,984
立替金【学術】	2,000,000		
		指定正味財産 助成金	1,118,192
		一般正味財産	78,355,308
		(うち当期正味財産増減額)	(9,512,256)
合計	82,378,484	合計	82,378,484

財産目録

【一般会計】2025年8月31日現在 (単位:円)		
科目	内容	金額
資産の部	手持現金	0
	三菱UFJ銀行 横浜支店 普通預金	67,087,410
	みずほ銀行 駒込支店 普通預金	2,107,765
	ゆうちょ銀行 振替口座	2,290,774
貯蔵品	学会誌在庫 (21・22・23・24号)	432,886
未収入金	7～8月分コンビニ・クレジット年会費入金分 他	763,500
前払費用	(2025年度分) 日本看護系学会協議会会費、WEB管理費、セミナー経費	344,220
立替金【認定】	認定制度特別会計の事業費 一般会計立替分(一般会計口座にて支払分)	7,351,929
立替金【学術】	学術集会特別会計の事業費 一般会計立替分(一般会計口座にて支払分)	2,000,000
資産合計		82,378,484
負債の部	(2024年度分)9月以降支払経費・謝礼、JHAT会費、司法書士顧問料	2,394,659
未払金	法人都民税	70,000
未払法人税	消費税及び地方消費税	80,600
未払消費税	2025年度・2026年度年会費	260,000
前受金	謝礼源泉税預り金	88,725
預り金	一斉メール配信費用2件	11,000
仮受金		
負債合計		2,904,984
差引正味財産		79,473,500

2024年度収支報告書 < 認定制度・特別会計 >

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

(単位:円)

収入の部

項目	2024年度予算	2024年度決算	備考(内訳)
受験料	2,400,000	2,310,000	第22回認定試験受験申請 30,000×77名
認定登録料	800,000	760,000	(第22回受験) 10,000円×75名、(第21回受験) 10,000円×1名
更新審査料	1,200,000	300,000	(第12回再更新、第17回更新) 30,000円×10名
更新登録料	740,000	920,000	(第11・12回再更新、第16・17回更新) 20,000円×46名
更新審査・登録料	200,000	100,000	(第7回再々更新) 10,000円×10名
更新延長料	160,000	560,000	20,000円×28名
再認定審査料	50,000	70,000	10,000円×7名
バッジ購入	0	9,000	500円×18個
雑収入	0	2,100	認定証再発行 1名
合計	5,550,000	5,031,100	

2024年度収支報告書 <認定制度・特別会計>

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

支出の部

項目	2024年度予算	2024年度決算	備考(内訳)
認定試験・更新関連費用	2,733,800	2,459,062	
会場費	150,000	167,200	会議室利用料・設備使用料
会議費	75,600	26,496	昼食代
旅費交通費	658,200	352,819	
通信費	200,000	63,465	郵送代
印刷費	10,000	0	
消耗品費	200,000	53,762	証書ファイル、USBメモリー
支払報酬料	660,000	1,003,000	試験問題監査報酬、問題作成報酬、事例審査報酬、会議日当
委託費	770,000	770,000	CBT認定試験運営費(株)CBTソリューションズ
雑費	10,000	22,320	振込手数料
その他費用	4,230,000	2,806,034	
業務委託費	3,600,000	2,594,755	CKDLN認定業務(株)ガリレオ
通信費	30,000	3,536	郵送代
雑費	600,000	207,743	残高証明書発行手数料、振込手数料(クレジット決済手数料含む)
予備費	500,000	0	
支出合計	7,463,800	5,265,096	
収支差額	-1,913,800	-233,996	
正味財産前期繰越	49,490,923	49,490,923	
正味財産次期繰越	47,577,123	49,256,927	

貸借対照表

【認定制度特別会計】		2025年8月31日現在		(単位:円)
資産の部		負債・正味財産の部		
科目	金額	科目	金額	
現金	0	未払金	2,631,659	
銀行預金	59,020,515	未払費用【一般】	7,351,929	
未収入金	220,000	負債合計	9,983,588	
		正味財産	49,256,927	
		(うち当期正味財産増減額)	-(233,996)	
合計	59,240,515	合計	59,240,515	

財産目録

【認定制度特別会計】		2025年8月31日現在		(単位:円)
科目	内容	金額		
資産の部	手持現金	0		
	みずほ銀行 横浜支店 普通預金	59,020,515		
	未収入金	220,000		
	7～8月分登録料クレジット決済分			
資産合計		59,240,515		
負債の部	未払金	2,631,659		
	業務委託費			
	未払費用【一般】	7,351,929		
	一般会計立替金の未精算分			
負債合計		9,983,588		
差引正味財産		49,256,927		

2024年度収支報告書 <助成金・特別会計>

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

収入の部				(単位:円)
項目	2024年助成	2025年助成	備考(内訳)	
受取助成金	0	3,000,000	田辺三菱製薬医学教育助成(期間2025年1月1日～12月31日)	
合計	0	3,000,000		

支出の部				備考(内訳)
項目	2024年助成	2025年助成		
イベント・セミナー等開催費用				
会場使用費	127,962	183,840	会場使用料・設備使用料 セミナー(池袋)、市民公開講座(沖縄、徳島、浜松、鎌倉、秋田)	
会議費	2,513	90,341	飲料、菓子、軽食、弁当、お土産	
印刷費	0	91,405	ポスター印刷、資料印刷	
通信費	24,160	36,686	宅配便、FAX	
事務用消耗品費	86,664	139,561	インクカートリッジ、文房具等事務用品、A4用紙、試供品(しょうゆ等)、ごみ袋、ガムテープ	
支払手数料	53,948	0	一斉メール配信費用、事務委託費	
講師謝礼	165,000	278,422	講師謝礼、座長謝礼、日当、会議出席旅費	
講師交通費・宿泊費	732,769	883,363		
自記式質問紙記入用ボールペン	0	0		
教育用プログラム作成費用	280,000	0	腎臓ケアeラーニング修正	
教育用資材作成費用	64,900	169,950	生きがい連結カード、腎代替療法選択のための聞き書き冊子 印刷	
雑費	12,990	8,240	振込手数料	
支出合計	1,550,906	1,881,808		
収支差額	-1,550,906	1,118,192		
指定正味財産前期繰越	1,550,906	0		
指定正味財産次期繰越	0	1,118,192		

収 支 報 告 書

【学術集会特別会計】
自 2024年9月1日 至 2025年8月31日
(単位:円)

項 目	決算額
学術集會会費	14,804,000
展示・広告収入	9,328,000
寄付金収入	640,000
懇親会収入	0
抄録集売上	12,000
受取利息	8,104
雑収入	2,146,940
収入合計	26,939,044

貸 借 対 照 表

【学術集会特別会計】 2025年8月31日現在		(単位:円)	
資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	38,302	仮受金	1,000
銀行預金	25,990,899	前受金	6,359,000
前渡金	61,918	未払費用【一般】	2,000,000
		負債合計	8,360,000
		正味財産	17,731,119
		(うち当期正味財産増減額)	(1,904)
合計	26,091,119	合計	26,091,119

支出の部

項 目	決算額
会議費	1,203,656
旅費交通費	383,377
通信費	155,650
懇親会費	0
消耗品費	196,020
印刷費	4,248,657
支払手数料	15,451,043
賃借料(会場費)	3,493,510
租税公課	1,240
支払報酬料	957,247
雑費	846,740
支出合計	26,937,140
差引差額	1,904
正味財産前期繰越	17,729,215
正味財産次期繰越	17,731,119

財 産 目 録

【学術集会特別会計】 2025年8月31日現在		(単位:円)	
科目	内容	金額	金額
資産の部			
現金	手持現金		38,302
銀行預金	みずほ銀行 駒込支店		17,727,822
銀行預金	みずほ銀行 富山支店(学術27回)		0
銀行預金	三井住友銀行 洲本支店(学術28回)		7,261,213
銀行預金	北洋銀行 本店営業部(学術29回)		1,001,864
前渡金	第28回学術集會に係る支出		61,918
資産合計			26,091,119
負債の部			
仮受金	第29回学術集會口座開設時入金		1,000
前受金	第28学術集會に係る収入		6,359,000
未払費用【一般】	一般会計立替金の未精算分		2,000,000
負債合計			8,360,000
差引正味財産			17,731,119

監事監査報告書

一般社団法人
日本腎不全看護学会
理事長 岡 美智代 様

私たちは、日本腎不全看護学会の2024年9月1日から2025年8月31日までの財産の状況について、2025年10月29日に監査を行いました。

また、理事の業務執行の状況に関する監査にあたっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行いました。

その結果について、以下のとおりご報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他の重要な会議の議事録、および理事などからその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類などを閲覧し、事務局などにおいて業務および財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

また、会計帳簿などの調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表および損益計算書の監査を実施いたしました。

監査結果

- ① 事業報告書は法令および定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- ② 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- ③ 計算書類は、法令および定款に従い、損益および財産状況を正しく示しているものと認めます。
- ④ 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上

2025年10月29日

一般社団法人日本腎不全看護学会

監事 熊澤 ひとみ



同 濱井 章



第2号議案 2025年度事業計画および予算案承認の件

当学会の2025年度事業計画および予算案を下記のとおり策定したので、その承認を求める。

2025 年度事業計画

常任理事会

理事長：岡美智代

活動目標	計画事業	内容
1. 学会運営が円滑に行われる	1. 理事会の開催（年 5 回予定） 理事会に合わせた事前打ち合わせとして、常任理事会を開催する。	年 1 回は学術集会に合わせて集合型による理事会を開催する。2025 年度は、神戸大会の予定。その他については Web 会議とする。理事会の運営が円滑にできるように、事前に、各委員会の議案書の確認や議題について確認する。
2. 運営目標に向けた積極的な活動と委員会支援	2. 会員のニーズを捉えた学会活動の活性化	会員の特性ごとのニーズを把握し、現状の学会活動・運営の見直し、発展を推進する。
	1. 「運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携」について	1) 研究委員会、国際交流委員会、災害対策委員会、医療安全委員会、倫理委員会の支援を通して関連組織との連携活動を行う。 2) 広報委員会の支援を通して、JANN の活動について情報発信を行う。 3) 日本腎不全学術集会・総会、第 28 回（会場：神戸）、第 29 回（会場：札幌）の運営支援を行う。 4) 日本腎不全学術集会・総会、第 30 回（会場：札幌）、第 31 回（会場：未定）開催計画。
	2. 「運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展」について	1) 編集委員会、研究委員会、統計調査委員会への支援を通して、研究成果の創生と研究推進を行う。 2) 看護政策委員への支援を通して、看保連への診療報酬の申請を行う。 3) 書籍の企画、編集など。 4) 学会賞・実践賞の設立
	3. 「運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用」について	研修、セミナー、看護研究助成金の授与、CKDLN, CN, CNS、腎代替療法専門指導士の活動支援など、すべての委員会への支援を通して、人材育成を推進し、活動の場を広げる。
	4. 「運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー」について	1) 各委員会に配置されている常任理事を通して、各委員会の活動を支援する。 2) 4 つの運営目標推進のための各委員会への

		活動内容の確認と支援。 以上
--	--	------------------------------

2025 年度事業計画

編集委員会

委員長：小坂志保

活動目標	計画事業	内容
1. 本学会誌を年 2 回発刊し、投稿論文数の増加・質向上を狙う ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1. 学会誌発行	(1) 2026 年 4 月 第 28 巻 1 号発刊 2025 年 11 月 第 28 回学術集会大会長へ原稿依頼 2025 年 11 月 特集企画執筆依頼 2026 年 1 月 掲載原稿決定 2026 年 2 月 最終稿入稿 2026 年 3 月 校正 (2) 2026 年 10 月 第 28 巻 2 号発刊 2026 年 8 月 掲載原稿決定 2026 年 9 月 最終稿入稿 2026 年 9 月 校正 年間論文投稿数、採択率、平均査読期間などをホームページに掲載する
＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	2. 査読・投稿論文の質の担保	第 2 回投稿者セミナーの実施 セミナー案：実践報告投稿へのプロセス 学術集会での相談コーナーの設置： 第 29 回学術集会にて、論文投稿相談コーナーを設置し、論文投稿の支援を行う。研究委員会との合同交流集会を企画する。
＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞	3. 学会賞の設立	表彰委員会の設置を含め設立に向けた具体策を検討する
＜運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー＞	4. 事業運営のための委員会開催	(1) 2025 年 11 月 Web 開催 (2) 2025 年 12 月 (詳細未定) (3) 2026 年 1 月 (詳細未定) (4) 2026 年 2 月 (詳細未定) (5) 2026 年 3 月 (詳細未定) (6) 2026 年 4 月 (詳細未定) (7) 2026 年 5 月 (詳細未定) (8) 2026 年 6 月 (詳細未定) (9) 2026 年 7 月 (詳細未定) (10) 2026 年 8 月 (詳細未定) (11) 2026 年 9 月 (詳細未定)

2. 査読者への支援の充実 <運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展>	1. 専任査読者の決定 2. 査読資料の作成	(1)～(11)いずれも委員全員が参加予定 Webでの開催予定 上記以外はメールにて委員会開催 2 年ごとの新規査読者も含め、専任査読者の選定と依頼を行う。 新規査読者の査読支援につながる資料を作成する。
--	--	--

2025 年度事業計画

教育委員会

委員長：片村幸代

活動目標	計画事業	内容
<運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展> 1. 透析医療における医療安全の最新の知識を習得する	トピックス研修 「透析医療における医療安全のための提言」 2025 年 10 月 12 日（日） Web 開催	「透析医療における医療安全のための提言」が 2025 年 4 月 30 日に透析医学会医療安全対策委員会より発行された。この提言にワーキンググループとしてかかわった先生 2 名を講師に招く。医療安全の方針策定・臨床手順の安全・患者家族参加・医療者教育などを学び、透析医療事故防止に役立つ研修と考える。 【講師】小山貴也先生（90 分） 安藤亮一先生（90 分）
2. 腎不全の緩和ケアの定義と目的を理解し、緩和ケアの主な内容を学ぶ	第 28 回日本腎不全看護学会 学術集会併設基礎教育セミナー 「腎不全の緩和ケア（仮）」 2025 年 11 月 29 日（土） 現地開催	末期腎不全の患者に対して生命の延長だけでなく、苦痛の緩和や QOL の向上を重視し、患者の尊厳を保ちつつ、症状マネジメントを行うとともに精神的・心理的ケア・意思決定支援を多職種チームでかかわることを学び、実践につなげていただく。 【講師】たけお内科クリニック院長 大武陽一先生（60 分）
3. 治療選択の基本的概念や意思決定支援を学ぶとともに、腎代替療法専門指導士の資格取得を推進する	新規 4 時間治療選択特別研修 2026 年 1 月～3 月（未定） 2025 年 9 月 21 日に開催した同研修をオンデマンド配信	・治療選択の基本概念 ・腎代替療法（血液透析・腹膜透析・腎移植・保存的腎臓療法） ・治療選択に必要な多職種連携・専門職連携 ・治療選択支援における高齢者ケア・認知症ケア・家族ケア ・治療選択の意思決定を支援するコーチング
4. 専門的知識と技術を用いて患者家族を支援するとともに、看護の質向上のため看護師の教育活動に取り組む	CKDLN 研修 未定	

2025 年度事業計画

研究委員会

委員長：小坂志保

活動目標	計画事業	内容
＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞ 1. 腎不全看護に関する研究の質向上のための支援を行う	1. JANN 会員向け研究の促進を援助する	1) JANN 会員の研究推進を目的として、会員が計画した研究について、SOLTI に登録されている学会員のメールアドレス宛に一斉メールを送信する。 2) 周知活動の活性化を図るため、学会員への研究依頼の案内に関するフライヤーを作成し、研究倫理セミナー開催時と学会相談ブースに掲示する
	2. 第 7.8 回研究倫理セミナーの開催	1) 研究倫理セミナーで要望のあった内容について研究セミナーを開催する。 ・文献検討～RQ 設定までの流れ（グループに分かれて実践）（仮） ・量的研究・質的研究について分析方法の紹介と実際のデータを用いた分析（グループに分かれて実践）（仮）
	3. JANN 会員の研究相談の実施	1) 研究倫理セミナー終了後に個別相談を実施する。また、学術集会開催時には研究相談ブースの設置や交流集会などの開催を企画し、参加者がクリニカルクエストからリサーチクエストへと発展させる過程を支援するとともに、適切な研究デザインの提案を行う
	4. 事業推進のための委員会開催	1) 日時場所未定 5～8 回/年開催し、そのうち 2 回は対面会議を行う
	5. 倫理審査申請業務	5. 倫理審査業務を開始し 3 年が経過したが、現状では申請はない。各学会に依頼している倫理審査委員については見直しと更新依頼を行う

<運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展> 2. 腎不全看護に寄与する研究・エビデンスの創出を行う	1. 腎不全看護学の向上に寄与する重要課題について検討し、研究委員会主導で学会全体のエビデンスの構築を行う	1) 仮テーマ：CKD 患者における在宅医療・介護連携の実態調査（最終的には新委員会にて検討する） 2025 年度 調査に関する研究計画立案・倫理審査受審 2) 2026 年度 調査実施・JANN 学会誌で成果報告
--	--	--

2025 年度事業計画

看護研究助成審査委員会

委員長：飯田美沙

[illegible]

2025 年度事業計画

広報委員会

委員長：今西伸子

活動目標	計画事業	内容
1. ホームページの管理 <運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携>	ホームページの管理の継続	・関連学会や各委員会からのお知らせを、事務局に掲載してもらい、掲載内容の確認をする。 ・他委員会からの修正依頼の確認。
2. 災害時の対応 <運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携>	災害時の情報発信	・災害対策委員会と連携を図り、災害の状況をタイムリーに伝える。
3. CKDLN の維持増加 <運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用>	ホームページ、SNS の活用	・学会員にとって有益な情報をタイムリーに発信する。 研究会や大会の様子を、SNS を通して写真などを掲載し、活動をより身近に感じてもらえるようにする。
4. 広報の充実 <運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー>	ホームページ、SNS の活用	・関連学会や各委員会と連携して学術集会やセミナーなどの告知活動を行なう ・メールニュース、LINE 公式アカウント、Facebook、Instagram の活用を工夫し、会員だけでなく一般の方にも腎不全看護を広く知ってもらう。

2025 年度事業計画

看護政策委員会

委員長：鉾立優作

活動目標	計画事業	内容
令和 10 年腎不全看護領域の診療報酬改定に向けた要望書の内容検討 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	・理事会にて要望内容について審議 ・委員会及び他委員会より意見交換と集約 ・委員会の定期的 Zoom 会議の開催	腎不全看護領域における診療報酬改定に向けた要件の検討及び作成準備
看保連 ・会議や情報交換会参加にて診療報酬評価について情報収集	・看保連情報交換会、診療報酬体系あり方委員会、看護技術検討委員会への参加	令和 10 年度診療報酬改定に向けた要望書に関連した意見交換の実施、他学会との連携
診療報酬要望書作成に向けたエビデンスの集約	・論文検索 ・統計調査委員会との連携、研究協力	・診療報酬に関連するデータ分析と課題の表出

2025 年度事業計画

医療安全・感染対策委員会 委員長：小山貴也

活動目標	計画事業	内容
関連学会及び他組織と協働し、腎不全看護領域の医療事故・感染対策に関して委員へ貢献する ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞	1. 日本医療事故調査機構（医療事故調査・支援センター）との協働	1. 協力学会として更新・登録手続きを行う事務局担当：ガリレオ事務局 統括責任者：委員長 2. 協力学会説明会へ参加する 年 1 回（3 月頃）開催予定 3. 現在の調査が終結するまで協力する 4. 医療事故調査依頼発生時に備え、全国 8 地区に担当者を配置し、依頼発生時は各担当者と協議し調査担当者を選定する
	2. 日本透析医学会危機管理委員会医療安全小委員会との協働	1. 委員会への参加（年 1 回） 2. 日本透析医学会学術集会・総会での委員会企画に参画する
	3. 医療安全感染対策について委員からの相談に対応する	1. 相談内容に応じて専門領域の看護師と協働し対応する
	4. 事業推進のための委員会を定期的に開催する	1. 年 3 回以上開催する（現地もしくは Web）
	5. 協力学会からの講演依頼に対応する	1. 他学会が行なう資格制度確立や講演会等の協力依頼に対応する
	6. 医療安全感染対策に関する学びの場を提供する	1. 本学会の学術集会等で、セミナーや交流集会等を企画・運営する

2025 年度事業計画

災害対策委員会

委員長：徳田勝哉

活動目標	計画事業	内容
1) 看護師 JHAT 隊員数の増加 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1) 透析時災害対策に対する系統的な知識とネットワークの獲得 2) JHAT 研修会への参加募集 【達成水準】 ①看護師 JHAT 隊員 200 名 ②災害 NEWS Letter 発刊(2 回/年)	①効果的な広報活動のため、ホームページや SNS などを活用する。 ②JHAT 隊員養成研修の参加者数と JHAT 隊員登録数の確認と評価。 ③災害ニュースレターの作成(広報)
2) 看護師 JHAT 隊員の地区分布の明確化 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1) JHAT 隊員または、JHAT 研修参加者(一定水準の透析医療に対する災害対策の知識の獲得ができた者)の数・分布を可視化し、地域の偏りを最小限にする。 【達成水準】 ①全都道府県の JHAT 隊員の配置	①JHAT 隊員または、JHAT 研修参加者数・分布図を可視化し、会員へ提示する。 ②配置人数や地区による偏りを明確化し、効果的な広報や JHAT 研修地区の決定に参画する。 ③災害ニュースレターの作成(広報)
3) 災害対策マニュアルまたは、チェックリストの作成 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) 平時からの災害対策指針と平時からの役割チェックリストを作成し、平時からの災害対策のボトムアップを図る 【達成水準】 ①平時からの災害対策指針と役割チェックリストが作成できる。 ②作成した指針と役割チェックリストを会員へ提供できる。	①WEB 会議の開催(2～3 回/年) ②平時からの災害対策指針の検討・作成 ③平時災害対策チェックリストの作成
4) 透析施設における災害状況の簡易報告ツールの検討と運用 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1) 透析災害迅速練達ツールを活用した訓練の実施し、有事の際のシミュレーションを実施し、有事の対応のボトムアップができる。 【達成水準】 ①災害時情報伝達訓練を 2 回実施できる。 ②訓練後の評価ができる	①WEB 会議の開催(2～3 回/年) ②透析災害迅速伝達ツールの運用の構築 ③透析災害迅速伝達ツールの評価・改定 ④各施設の災害対策訓練の調査 ⑤小規模災害に対する活動の検討

5) JHAT 事業の参画 <運営目標 1: 国民への情報発信の強化と関連組織との連携>	1) 各関連団体の災害関連会議へ参画し、情報収集や支援対策へ参画する 【達成水準】 ①本委員から5つの会議へ100%参加できる	① 災害関連会議に最低でも JANN 災害対策委員会のメンバーが1名以上は参加できるように調整する。 ② 効果的な JHAT 研修会の開催・運用 【参加予定の会議】 ①JHAT 事務局会議 ②JHAT 隊員研修会 ③日本透析医会災害小委員会 ④災害時情報ネットワーク会議 ⑤日本災害時透析看護合同委員会
--	--	---

2025 年度事業計画

国際交流委員会

委員長：高井奈美

活動目標	計画事業	内容
1. 会員が海外の慢性腎臓病について関心を高められるように支援する <運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携>	1) 海外の慢性腎臓病看護に関する教育情報を発信する 2) 国際学会参加の支援	(1) 海外の看護実践や活動について紹介する (2) 国内外の国際学会開催について紹介する (3) 国際学会参加希望者の支援を行う ・学会参加の相談、準備や手続き支援 (4) 国際学会で発表する会員の実体験をミニニュースレターで紹介する
2. 海外の慢性腎臓病看護関連学会と交流し、各国の看護について情報発信する <運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展> <運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用>	1) 第 9 回アジア腎不全看護学会と連携を図り交流を深める 2) 国際学会において共同セッションやシンポジウムの検討	(1) 第 9 回アジア腎不全看護シンポジウム事務局と定期的に連絡を取る。 (2) 共同セッションやシンポジウムの提案を行う (3) JANN ホームページ上の英語サイトへのアクセス数の把握を行う (4) 新理事長のあいさつ文を英翻訳し、ホームページ上で変更する。 (4) ISPD リエゾンナースの会と定期的に連携を図り、海外の学会動向、最新研究などの取り組みを把握する

2025 年度事業計画

倫理委員会

委員長：山本美和

活動目標	計画事業	内容
1. 学会活動および、学会運営を行うに際して、学会設立の趣旨にそった倫理上の指針を検討する ＜運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー＞ 2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進する ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞ ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1. 「会員」、「学会活動」、「学会運営」、「その他必要とされる倫理的案件」について審議し、学会としての倫理上の指針を示す 2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進するような公益性のある事業を行う	1) 「会員」の倫理 ①会員の行動を律する職業倫理規定は、日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を基本とする 2) 「学会活動」「学会運営」の倫理 ①会員は、「日本腎不全看護学会の定款」によって活動する ②役員、理事、社員は「定款」および「細則」に則って会の運営を行う 3) 学会のための COI 規約 ①各委員会と協力し、作成した「利益相反指針運用細則」「利益相反管理指針」の運用を行えるように働きかける。 1) 学会員へ臨床倫理に関する知識や情報提供の活動 ①2025 年 11 月開催の第 28 回日本腎不全看護学会学術集会委員会企画シンポジウム、 テーマ：現場で活用できる ACP と SDM ～高齢透析患者の最期をより良いものにするために～ 外部講師：三浦靖彦先生、学会員講演 2 名 ②臨床倫理についてセミナー ZOOM 開催 テーマ：1) 透析患者の緩和を考える 2) 高齢 HD 患者への RRT のあり方 を考える 外部講師 2 名程度招聘予定 2) 学会へ提出された抄録の取り扱いに対する倫理的取り決め ①「抄録の取り扱いについて」の運用フォロー、学術集会への活用依頼 3) 倫理委員会がない施設や専門的の高い臨床症例に対して学会での臨床倫理相談窓口の設立の検討 ①セミナー時に臨床症例相談ができるような募集形式し対応していく 4) 「腎代替療法に関する意思決定支援にお

		ける日本腎不全看護学会のステートメント」の再検討のため、知識状況提供のセミナーで学習し、現代状況に合わせて内容の再検討を行う。 5) 高齢透析患者の看取りや終末期について ①学会でパンフレット作製準備 →高齢透析患者の看取りに対して学会員へ実態調査を行う (統計調査委員会と協働で実施) →緩和的 PD やラスト PD、高齢 PD についての知識普及のためのセミナー開催の検討
--	--	--

2025 年度事業計画

統計調査委員会

委員長：篠原謙太

活動目標	計画事業	内容
1. 会員が所属する施設の血液透析部門の実態調査 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) 2026 年度の調査に向けた準備を行う	今回の調査では施設単位で透析部門に勤務する看護師がどのような環境で勤務しているのか、またどのような看護実践がされているのかを調査する予定である。2025 年度は以下の内容を実施する。 (1) 調査目的の明確化 (2) 調査目的に応じた調査項目の抽出と決定 (3) 研究倫理審査委員会の承認を得る (4) Web アンケートの作成
2. 看護政策委員会との協働 ＜運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー＞	1) 看護系学会等社会保険連合への要望書等に必要なデータの検討・収集	(1) 研究計画書の作成 (2) 研究倫理審査委員会の承認を得る (3) データ収集

2025 年度事業計画

認定委員会

委員長：宇賀神ゆかり

活動目標	計画事業	内容
熟練した看護技術と知識を基盤に、患者の生活の質向上に寄与する CKD 看護を実践できる CKDLN を育成する。 ＜運営目標 2:腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1. CKDLN 認定審査事業	1) 第 23 回 CKDLN 認定審査の実施 申請期間：2026 年 1 月初旬～1 月中旬 筆記試験：2026 年 6 月上旬 CBTS 方式 2) 認定証の発行 3) 筆記試験問題作成会議の実施 試験問題の検討、実施後の評価
CKDLN の専門的活動を持続的に保証することを目的として、認定更新審査を実施する。 ＜運営目標 2:腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	2. CKDLN 更新審査事業	1) 更新審査事業の実施 申請期間：2026 年 4 月 1 日～4 月中旬 ・ 第 18 回更新審査 ・ 第 13 回再更新審査 ・ 第 8 回再々更新審査 2) 認定証の発行
CKDLN が慢性腎臓病看護において持続的にその役割を担えるよう、組織的に支援する。 ＜運営目標 2:腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	3. 支援事業	1) 第 28 回日本腎不全看護学会学術集会・総会交流集会(第 1 回事例書き方セミナー) 3) 第 28 回日本腎不全看護学会学術集会・総会 CKDLN 相談コーナーの開設 4) 年 3 回の事例の書き方セミナー開催 (11 月・2 月・3 月) 5) CKDLN 受験、更新、再更新、再々更新に関わる各種要項の作成 6) 事例報告の提出時のチェックリストの添付を検討する。
CKDLN の自己研鑽の機会を確保する。 ＜運営目標 2:腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	4. 認定ポイント対象研修事業	1) 認定ポイント対象研修および認定ポイント対象企業主催研修に関する申請の審査の実施 2) WEB セミナーでのポイント寄与についての規定を見直す

CKDLN 資格制度が継続的に発展し、看護実践に貢献できるよう、その円滑な運用を目標として認定委員会を開催する。 <運営目標 2: 腎不全看護の知識と実践の構築と発展> CKDLN 資格制度の持続的発展を支えるため、制度運用の適正化と商標登録の周知。 <運営目標 1: 国民への情報発信の強化と関連組織との連携>	5. 事業運営のための委員会開催 6. 制度の信頼性の保証、専門性の認知および CKDLN 活動の持続的推進事業	1) オンライン会議を基本として、年 4 回開催予定（うち 2 回は、認定審査受験資格審査判定会議、更新審査判定会議を兼ねる） ・セミナー開催に向けての WEB 会議（4 回） 1) 会員への周知 2) HP への掲載
--	--	---

2025 年度事業計画

CKDLN 委員会

委員長：江上豊

活動目標	計画事業	内容
1. CKDLN ネットワーク作り ※数値目標 ①活動レポートの提出 25 都道府県以上 ②日本腎不全看護学会学術集会で交流集会・WS の開催 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1-1. 地区代表と都道府県代表の交流会の開催 1-2. 地域において CKDLN を組織化することを目的としたワークショップの開催 1-3. モデルとなる都道府県や地区の紹介	・1 回/年 ・学術集会・総会前日に開催 ・各都道府県の活動状況の共有 ・都道府県の活動レポートの提出の啓発
2. CKDLN の新規登録者の増加、再更新を促す ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞	2-1. CKDLN の魅力の発信 2-2. CKDLN のネットワークの中で、再更新者を支えるシステムの構築 2-3. 全国の CKDLN の困りごと、負担感の抽出	・交流会の様子や地区代表・都道府県代表から得た CKDLN の魅力（やりがいなど）を SNS などを通じて発信する ・都道府県（地域）の CKDLN のネットワークから地域へ CKDLN の活動や魅力などを発信する ・CKDLN の更新者を都道府県で支えられるようなシステムを考え構築を目指す ・更新者の把握 ・全国の CKDLN に対してアンケート調査を行い介入方法を考える
3. CKDLN の質向上 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	3-1. 地区セミナーの開催 3-2. 都道府県 CKDLN 代表が目標（活動レポート）を立て活動する	・地区セミナーの開催 ・活動レポートを提出の啓発 ・活動レポートを SNS やメールニュースなどを通して発信 ・CKDLN（地区・当道府県）代表の交流会の開催 ・ワークショップの開催

	3-3. CKDLN 個人の活動レポート の募集と紹介	・個人の活動レポートを HP などで紹介
--	--------------------------------	----------------------

2025 年度事業計画

CKD 委員会

委員長：城間久美絵

活動目標	計画事業	内容
<運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携> ・ CKD に関する国民への啓発：学術集会時の市民公開講座の開催	1) 市民公開講座の継続 (CKD 委員会として4か所で行う予定)	(1) 市民公開講座の開催を希望する地区の CKDLN の協力を得ながら、市民公開講座を計画的に開催する。
<運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展>	2) 慢性腎臓病透析予防指導の教育教材を作成 教材を活用した透析予防指導について研修会を開催する（現地かオンラインで行うかは検討）	(2) 教材の作成と研修会の開催 ・ 前期に教材の作成・原稿執筆・校正・デザイン・教材を製本化する ・ 教材を活用し後期に研修会を開催する
<運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用> ・ 慢性腎臓病看護第7版 発刊の確認	3) 計画通りに慢性腎臓病看護第7版を発刊する（編集委員会と共に）	(3) 2025 年 10 月下旬に、テキスト編集委員の査読を開始し、校正開始、修正した原稿を集約する 2026 年 1 月には医学書院へ原稿提出 2026 年 6 月に著者校正開始 2026 年 8 月、最終確認後、編者校正締め切り 2026 年 10 月に入庫 2026 年 11 月の日本腎不全看護学会学術集会でお披露目の予定
<運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー> ・ 各事業作業のスマート化	4) 市民公開講座を各地域の CKDLN 中心でできるように標準化する	(4) 2025 年に作成した市民公開講座のマニュアルやチェック表を活用し、修正が必要な場合はその都度改定を行う。

2025年度予算案 <一般会計>

自 2025年9月1日 至 2026年8月31日

収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2024年度予算	2024年度決算	2025年度予算	備考(内訳)
1	年会費	34,740,000	34,210,000	32,490,000	
2		1,500,000	1,990,000	1,500,000	(一般) 過年度
3		32,280,000	31,200,000	30,030,000	(一般) 当年度 納付率85%想定
4		960,000	1,020,000	960,000	(賛助) 当年度 納付率95%想定
5		0	0	0	(名誉)
6	研修費	2,940,000	1,060,500	2,680,000	
7		600,000	0	0	CKDLN受験対策セミナー
8		200,000	0	0	透析看護入門研修
9		800,000	0	800,000	トピックス研修
10		200,000	200,000	320,000	CKDLN研修
11		180,000	231,000	180,000	査読セミナー/投稿者セミナー
12		480,000	344,500	300,000	研究セミナー
13		300,000	115,000	0	倫理セミナー
14		180,000	170,000	120,000	事例書き方セミナー
15				320,000	ラストPD、緩和的PDセミナー
16				320,000	透析患者の緩和ケア
17				320,000	Second SDM セミナー
18	教育セミナー費	1,440,000	561,000	1,870,000	CKDLNセミナー 各地区で開催
19	特別研修費	2,880,000	1,002,000	1,800,000	
20	その他収入	317,000	194,738	297,000	
21	雑収入	317,000	192,834	297,000	テキスト印税、WEB文献使用料、研究倫理審査申請費、認定ポイント対象研修会申請料など
22	受取利息	0	1,904	0	預金利息
23	収入合計	42,317,000	37,028,238	39,137,000	

支出の部 I

行No.	項目	2024年度予算	2024年度決算	2025年度予算	備考(内訳)
24	会議費	1,570,000	414,867	1,570,000	常任理事会4回、理事会4回、社員総会・会員総会1回、会計監査1回
25		200,000	0	200,000	理事会・社員総会・会員総会 (会場費)
26		800,000	115,038	800,000	理事会・社員総会・会員総会 (交通費)
27		70,000	22,480	70,000	理事会・社員総会・会員総会 (通信費)
28		500,000	277,349	500,000	理事会・社員総会・会員総会 (雑費)
29	委員会活動費	7,721,000	2,636,505	6,317,000	
30		315,500	2,750	644,500	編集委員会 (会議費、交通費、投稿論文相談ブース費用、学会誌特集企画費用など)
31		30,000	0	0	教育委員会
32		973,500	203,772	1,061,500	研究委員会 (会議費、交通費、研究倫理審査費用、研究相談ブース費用など)
33		50,000	660	50,000	看護研究助成審査委員会 (会議費、交通費など)
34		219,200	0	219,200	広報委員会 (会議費、交通費など)
35		158,000	0	200,000	看護政策委員会 (会議費、交通費など)
36		20,000	0	50,000	災害対策委員会 (会議費、通信費など)
37		166,600	1,788	176,600	医療安全・感染対策委員会 (会議費、交通費など)
38		404,000	169,400	237,000	国際交流委員会 (会議費、交通費など)
39		345,000	206,040	714,800	倫理委員会 (会議費、交通費、シンポジウム費用など)
40		713,400	0	713,400	統計調査委員会 (会議費、交通費など)
41		600,000	604,599	1,187,000	CKD委員会 (会議費、交通費、市民公開講座費用など)
42		325,200	104,295	637,000	認定委員会 (会議費、認定ポイント対象研修会審査委託費用など)
43		1,900,600	88,660	426,000	CKDLN委員会 (会議費、交通費など)
44		1,500,000	1,254,541		選挙管理委員会
45	研修費	2,752,650	1,840,915	3,252,461	
46		252,400	1,320	243,680	トピックス研修 (謝礼、委託費など)
47		379,360	0	0	透析看護入門研修 (謝礼、委託費など)
48		315,680	0	0	CKDLN受験対策セミナー (謝礼、委託費など)
49		260,460	221,435	280,900	学術集会併設セミナー (謝礼、委託費など)
50		153,180	153,180	181,032	CKDLN研修 (謝礼、委託費など)
51		166,180	347,470	201,414	査読セミナー/投稿者セミナー (謝礼、委託費など)
52		398,620	367,280	300,000	研究セミナー (謝礼、委託費など)
53		475,050	307,140	0	倫理セミナー (謝礼、委託費など)
54		351,720	443,090	457,619	事例書き方セミナー (謝礼、委託費など)
55				529,272	ラストPD、緩和的PDセミナー (謝礼、委託費など)
56				529,272	透析患者の緩和ケア (謝礼、委託費など)
57				529,272	Second SDM セミナー (謝礼、委託費など)

58	教育セミナー費	1,419,810	1,049,571	1,774,000	
59		152,000	79,200	230,000	CKDLNセミナー会場費 (研修会場費)
60		282,000	242,281	330,000	CKDLNセミナー交通費 (講師等旅費)
61		985,810	728,090	1,214,000	CKDLNセミナーその他経費 (謝礼、委託費など)
62	特別研修費	2,071,680	1,065,459	798,177	
63		0	0	49,000	会場費 (研修会場費)
64		0	0	123,010	交通費 (講師等旅費)
65		2,071,680	1,065,459	626,167	その他経費 (謝礼、委託費など)
66	広報費	9,616,000	8,046,072	9,330,000	
67		1,250,000	588,170	600,000	通信費・荷造運賃 (定期配信メール、宅配便など)
68		666,000	607,415	1,600,000	ホームページ・LINE管理費 (HPリニューアル、HP管理・更新手数料、公式LINE利用料など)
69		700,000	274,737	130,000	印刷費 (封筒など)
70		7,000,000	6,575,750	7,000,000	学会誌 (電子版2回)

支出の部Ⅱ

行No.	項目	2024年度予算	2024年度決算	2025年度予算	備考(内訳)
71	事務局費	13,620,000	12,092,593	13,730,000	
72		300,000	99,911	300,000	通信費 (事務通信費)
73		300,000	173,740	300,000	交通費 (関連学会参加交通費)
74		100,000	11,308	100,000	消耗品費 (事務消耗品費)
75		800,000	793,100	800,000	支払報酬料 (税理士、司法書士)
76		8,090,000	7,707,802	8,200,000	事務局業務委託費 (ガリレオ社／事務局業務・投稿査読管理業務)
77		760,000	730,000	760,000	関連学会年会費 (IHAT、看保連、JANA、全腎協など)
78		2,200,000	1,944,841	2,200,000	雑費 (クレジット決済手数料・コンビニ手数料、振込手数料等)
79		1,000,000	561,891	1,000,000	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)
80		70,000	70,000	70,000	法人税・住民税及び事業税 (法人都民税)
81	助成金	500,000	370,000	500,000	看護研究助成金
82	予備費	1,000,000	0	1,000,000	
83	支出合計	40,271,140	27,515,982	38,271,638	
84	収支差額	2,045,860	9,512,256	865,362	
85	正味財産前期繰越	68,843,052	68,843,052	78,355,308	
86	正味財産次期繰越	70,888,912	78,355,308	79,220,670	

2025年度予算案 <認定制度・特別会計>

自 2025年9月1日 至 2026年8月31日

収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2024年度予算	2024年度決算	2025年度予算	備考(内訳)
1	受験料	2,400,000	2,310,000	2,400,000	第23回認定試験受験申請 30,000×80名
2	認定登録料	800,000	760,000	800,000	(第23回受験)10,000円×80名
3	更新審査料	1,200,000	300,000	3,690,000	(第13回再更新、第18回更新)30,000円×123名
4	更新登録料	740,000	920,000	2,320,000	(第13回再更新、第18回更新)20,000円×116名
5	更新審査・登録料	200,000	100,000	240,000	(第8回再々更新)10,000円×24名
6	更新延長料	160,000	560,000	400,000	20,000円×20名
7	再認定審査料	50,000	70,000	50,000	10,000円×5名
8	バッチ購入	0	9,000	2,000	
9	受取利息	0	0	0	
10	雑収入	0	2,100	0	
11	合計	5,550,000	5,031,100	9,902,000	

支出の部

行No.	項目	2024年度予算	2024年度決算	2025年度予算	備考(内訳)
12	認定試験・更新関連費用	2,733,800	2,459,062	2,576,500	
13	会場費	150,000	167,200	150,000	審査会議等会場費
14	会議費	75,600	26,496	43,000	お弁当代等
15	旅費交通費	658,200	352,819	335,000	会議交通費
16	通信費	200,000	63,465	200,000	通信費(切手、宅配便)
17	印刷費	10,000	0	10,000	会議印刷費
18	消耗品費	200,000	53,762	200,000	備品費
19	支払報酬料	660,000	1,003,000	763,500	書類・事例審査、作問等謝礼
20	委託費	770,000	770,000	870,000	CBT認定試験運営費
21	雑費	10,000	22,320	5,000	備品、振込手数料
22	その他費用	4,230,000	2,806,034	5,830,000	
23	業務委託費	3,600,000	2,594,755	5,100,000	CKDLN認定業務
24	通信費	30,000	3,536	30,000	資料送付など
25	雑費	600,000	207,743	700,000	振込手数料(クレジット決済手数料含む)
26	租税公課	0	0	0	預金利息(国税)
27	予備費	500,000	0	500,000	
28	支出合計	7,463,800	5,265,096	8,906,500	
29	収支差額	-1,913,800	-233,996	995,500	
30	正味財産前期繰越	49,490,923	49,490,923	49,256,927	
31	正味財産次期繰越	47,577,123	49,256,927	50,252,427	

第3号議案 理事・監事選任の件

下記のとおり新理事・新監事を選出したので、その承認を求める。

【理事】

(19 名)

氏名	カナ	所属先名
入江 智世	イリエ トモヨ	JA秋田厚生連 由利組合総合病院
内田 明子	ウチダ アキコ	医療法人クレドさとうクリニック
大森 泉	オオモリ イヅミ	クローバースマイル訪問看護ステーション
片村 幸代	カタムラ サチヨ	社会医療法人名古屋記念財団 新生会第一病院
神谷 千鶴	カミヤ チヅル	関西看護医療大学
熊谷 幸喜	クマガイ コウキ	南三陸病院
榑 みのり	サカキ ミリ	静岡県立大学
澤村 美海	サワムラ ヨシミ	医療法人新生会 新生会クリニック
中尾 弘美	ナカオ ヒロミ	
服部 智子	ハツリ トモコ	下関市立大学
濱田 昌実	ハマダ マサミ	城西国際大学
濱野 初恵	ハマノ ハツエ	富山県立大学
不動寺 美紀	フドウジ ミキ	日本赤十字社 福岡赤十字病院
星井 英里	ホシイ エリ	岡崎市民病院
水内 恵子	ミズウチ ケイコ	兵庫大学
山田 哲也	ヤマダ テツヤ	腎友会 岩見沢クリニック
山本 美和	ヤマモト ミワ	成田記念病院
由井 淑子	ユイ シュコ	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック
吉田 良美	ヨシダ ヨシミ	医療法人荒川クリニック

【監事】

(2 名)

氏名	カナ	所属先名
相澤 裕	アイザワ ユウタ	独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台病院
青木 栄子	アオキ エイコ	いなげ腎クリニック

(五十音順)

第4号議案 学術集会大会長承認の件

第31回日本腎不全看護学会学術集会・総会

大会長 由井 淑子(社会医療法人財団石心会 川崎クリニック)